



下曽我小学校
学校だより

梅の香

令和7年7月4日
藤本 明美
No.4

ふるさと下曽我を愛する子

夢に向かって挑戦する子

思いやる心を大切にする子

仲間とともに進んで行動する子

*記事の色はめざす子どもの姿に合わせています。

◆下曽我の子でよかった◆

6月2日(月)、自然ワールドで3年生が梅シロップ用の梅を収穫しました。「たくさんなっているね。」「甘い香りがするよ。」と、大喜びで梅をもぎました。中には梅の収穫がはじめてという子もあり、袋いっぱい梅にみんなが笑顔になりました。

12日(木)は地域で梅林を管理されている地域の方にご協力いただき、梅干し用の梅を収穫しました。「店では南高梅の梅干しをよく見かけるけれど、小田原で梅干しと言ったら昔から十郎梅なんだよ。」十郎梅が小田原のオリジナル品種であり、果肉が厚くて柔らかく梅干しにぴったりであることを教えていただき、子どもたちはおいしい梅干しを作りたいという思いを一層高めました。

その後は、梅を傷つけないようにやさしくもぎ取り、落とさないように大事に学校まで持ちかえる子どもたちの姿がありました。



6月16日(月)は、梅干しづくりに詳しい地域の方のご指導のもと、約42kgの梅を漬けました。家庭で梅干しをつくらしている子はいませんが、自分でつくるのはほとんどの子が初めてです。香りを楽しみながら梅を洗ったり、樽の中に丁寧に並べたりと、目を輝かせて作業する姿が印象的でした。

小田原市では、教育指導の重点として「社会力(*1)の育成」を掲げています。本校では、地域のこと・もの・人に触れる機会を大切にし、「地域で信頼できる他者を増やす」「地域の価値に気付く」「地域を愛する心を育む」ことで、社会力の育成に努めています。ちなみに、タイトルの「下曽我の子でよかった。」は、梅学習に取り組む中で、思わず漏れた子どもたちの言葉です。

(*1)一人一人が充実した人生を送り、よりよい地域社会を創るための力



◆新しい形の水泳(水遊び)授業◆

スポーツプラザ報徳での水泳(水遊び)授業が今年度から始まりました。

授業は各学年8時間(4回)です。迎いのマイクロバスに乗り込むと、まるで遠足に行くかのように笑顔で手を振りながら出発していく子どもたちの姿が印象的でした。授業は、事前に行った泳力調査をもとに、5つのグループに分かれて行われました。それぞれのグループにスポーツプラザ報徳のコーチが付き、教員が見守る中、泳力に合わせて練習が進みました。ヘルパーやビート板などの教具も充実しており、安心感のある中で楽しく練習に励むことができました。



◆音楽朝会◆

6月の音楽朝会で、「赤いやねの家」(作詞:織田ゆり子、作曲:上柴はじめ)を全員で歌いました。これは4年生の音楽の教科書に載っている曲で、故郷を懐かしむ想いが表現されています。

「下曽我のどんな景色が好きですか。この歌のように、みんなも下曽我の景色を胸に焼き付けながら成長していってほしいです。」という音楽担当教員の話に子どもたちは静かに耳を傾けていました。

この歌は、今年度の地域の方々への感謝の気持ちを伝える会で披露する予定で、1年間かけて練習していきます。歌う度に故郷を感じながら、自分たちの住んでいる下曽我を大切に思う心を育てていきたいと思っています。



◆自然体験学習◆

6月17日(火)18日(水)、5年生が足柄ふれあいの村で自然体験学習を行いました。

暑い日だったので、屋外での活動は短縮する形になってしまいましたが、森の人生ゲームや焼き板づくり、野外炊事を楽しみました。

夜はキャンドルファイヤーを行いました。火の神から努力、協力、友、気合、幸せ、勇気の火をもらい、キャンドルファイヤーに火を灯した後、グループごとにスタンツを発表して盛り上がりました。スタンツは、総合的な学習の時間に子どもたちが内容を考え、相談しながら練習を重ねてきました。手品、クイズ、劇、ダンスなど様々でしたが、どの発表でも共通していたのは、自信をもって練習の成果を披露する姿と友達の頑張りを認めて応援するあたたかい姿でした。

大自然の中で友達との絆を深め、協力することの大切さを学んだ5年生。今後の高学年としての活躍を期待したいと思います。



◆働き方改革について◆

新聞等で教職員の働き方が話題になっています。神奈川県教育委員会では、県域の市町村教育委員会と一体となって働き方改革を加速化させるため、令和7年3月28日に共同で「神奈川の教員の働き方改革加速化宣言」を行いました。

教職員が心身ともに充実して子どもたちと向き合う時間を確保するために、本校でも行事や会議等を始めとし、様々な視点からこれまでの働き方を見直してまいります。

今年度も夏休み中(8月12日～15日)に学校閉庁日を設けます。課業日に年次休暇を取ることが難しい状況から、長期休業に取得するようにしていますことも併せてご理解くださいますようお願いいたします。

また、夏休み中に子どもたちが様々な挑戦ができるよう各種コンクールの募集要項を配付いたしますが、提出の

際は募集要項を再度確認し、必要事項の記載漏れがないようご協力ください。

よろしくお願いいたします。

☞保護者・地域の皆様向けメッセージ(神奈川県教育委員会)



◆小田原ちょうちん◆

江戸時代中期、携帯に便利なちょうちんが東海道の宿場町小田原で誕生しました。この小田原ちょうちんは「三徳」と言われ、大正時代に懐中電灯が使われるようになるまで、日常的に使われていたそうです。

「三徳」とは

- ① 小型で便利・・・小さくためるので懐に入れて携帯できます。。
- ② ひごが角・・・普通のちょうちんは断面が丸や正方形のひごを使いますが、小田原ちょうちんは長方形です。面の広いほうに接着材をつけて和紙を貼るので、耐久性に優れています。
- ③ 魔除け・・・大雄山最乗寺の霊木を一部材料に使い、箱根を越える際の魔除けとされたそうです

7月3日(木)、6年生がふれあい会で小田原ちょうちんづくりに挑戦しました。細かい作業が多かったのですが、ボランティアの方々にご指導いただきながら、思い思いの絵や言葉が入ったオリジナルちょうちんを完成させました。製作を通して、小田原の歴史と先人の知恵や工夫を感じたことでしょう。

子どもたちのちょうちんは、9月に小田原城本丸広場で行われる小田原ちょうちん光アートフェアで展示されます。



☞学校 HP もご覧ください。



☞行事予定はこちらからご確認ください。

